



『校則について考える』（2月21日）を振り返って・・・

校則や各クラスのルールなどを確認した後、数字と記号の入ったカードを渡された。班ごとにルールを自分たちで決めてゲームをおこなう。楽しく対戦した後に、グループごとにどのようなルールでゲームを行ったか発表した。楽しかったゲーム、でもそのゲームにルールがなかったら、楽しかったのだろうか。ルールの必要性を感じた後、何のために校則があるのかを改めて確認した。

<みんなの感想より>

- 校則やルールはみんな面倒くさいと言うけど、ルールや校則はみんなのためにあるから、やっぱり守らないとだめだと思いました。（男子）
- 何か新しいことに挑戦しようと思えば、何かのルールか自分の中での決めごとがないといけないんだと思った。校則が常識を表しているなら、なくなればいいと思わない方がいいんだなと改めて思った。皆で楽しく何かをするには、ちゃんとルールを知って守ろうとすることが大切だと思った。（女子）
- 今日の授業で、校則が必要だと言うことは分かったし、校則が変わるかもしれないので、意識しながら生活して、変わっても気をつけたいと思った。（男子）
- ルールを決めるとき私が思ったことは、必ずみんなと一緒に決めて、みんなが納得した上でゲームを始めていました。みんなが納得しないルールは長続きしないし、人との関係も悪くなってしまいます。ルールは必ずみんなが良いと思うものでなければならなかった。（女子）
- みんなが楽しく過ごせるように、ルールや校則は大切なものだと思った。もし校則がなかったら、みんながやりたい放題だから守りたい。（男子）
- ちょっとしたルールなら、少しくらいやぶっても大丈夫かなと思ったこともありました。でも、ルールがないと意識できない、好き勝手する人がいるからつくられていると思うので、ルールはきっちり守って、許される範囲で工夫していきたいです。学生の間は、校則というルールがあり、ルールをやぶれば怒ってくれる人もいます。でも、社会に出るとそういったことは常識で、それが守れなくて困るのは自分です。だから、私もルールがある今、ルールはきっちり守りたいと思いました。（女子）
- 今日、最初に何をするのかと思ったけど、ゲームをしていたら、後でルールのことを聞かれたけど、あまり深くつくらないで簡単なルールにしていたので、あまり答えられなかった。でも、みんなのことを考えて、みんながつくったルールをみんなで守ったらとても気持ちよかったので、こういう機会があれば、今日のことを思い出して考えたい。（男子）
- 当たり前にならなければならないことをできない人が最近増えている。「ご老人に優しく、優先座席は譲る、困っている人には声をかける」決まりではないけれど、常識としてあるはずの行動が見られないのは人として悲しいことだと思った。（女子）
- ぼくは、今日の授業で遊びなどをして、校則がなぜあるのかということを体と頭を使って知れたので、とてもいい機会だと思いました。（男子）
- 服装を正しく、校則に従うことは続けていきたいです。校則は守っているけれど、この状態を維持することをがんばりたいです。また、ルールを決めてゲームをすること、ルールを決めて学校生活を送ること、ルールを守らなければ、おもしろくもなく、楽しくもないものになるということを改めて考えることができました。（女子）
- しっかり出された宿題は、提出日にしっかり出すなどと、今身近にあるものから直していきたいと思いました。（女子）
- 校則が必ず必要だということは分かったし、校則が変わるかも知れないので、意識しながら生活して、変わっても、気をつけたいと思った。（男子）